

フィリピンボランティア

2018・11・12～15

Woody chicken



スケジュール

1 1月12日 フィリピン マニラ到着 その後4時間かけてスービックへ

20時夕食 フィリピン料理

22時 お菓子詰め600袋

23時学校での授業絆サロンエデュケーション打ち合わせ

13日

8時集合ジプニーで絆サロンへ（約1時間）

9時絆サロン 挨拶後 学校組（授業とボランティアカット）と絆サロン組（モデルカラー、カット）

15時学校組が返ってくる その後、明日のムラでのメイクセミナー組の打ち合わせ、引き続き絆サロン組、ホテルへ
帰る組に分かれる

パブパブ、ユアーンが絆サロンに来た

20時夕食 韓国料理

22時フィリピンボランティアリーダーミーティング（もう一回、上田団長率いるスケジュールを組むことが決定）

14日

7時集合ジプニーで絆サロンへ（約1時間）

到着後すぐに村でのボランティアカット、メイクセミナー組と絆サロン組（カットセミナー、絆サロンスタッフストレート）

15時 村のボランティア組が絆サロンへ帰ってくる

エージェイが絆サロンに来る

その後3つのグループに分け、江里子さんのクリニックへ（そこでミデルとダニエラと会う）

20時夕食 中華（一也さん、ナニン（絆スタッフ）、ママル（絆サロン管理者）も一緒に）

15日

7時集合マニラへ その後帰国

フィリピンボランティアの3つの活動

- ①アエタ族による絆サロン支援とエデュケーション
- ②身体の弱い手術が必要な子たちの支援
- ③学校や村でのボランティアカットとコミュニケーション



フィリピンボランティアは今回で4年目になります。
一番初めに伊藤さん、森脇さん、久保さん、北田さんの視察から始まり
ました。
その後、春と秋に1度ずつ年に2回訪れて活動をしています。

主要メンバー

代表 伊藤豊 団長安井重満 副団長ミヤティ

リーダー 森脇正子、山本千佳、上田真弓、川口えみよ、吉武慶次郎

現地 富田一也さん 富田江里子さん 安井新

サポート ウッディ事務局

アエタ族による絆サロン支援

絆サロンにのアエタ美容師エデュケーション。この子たちは確実に成長しております。初めはウエディングから始まったのですが。収入を得るためにはカラー、ストレート、カットをしないとお客様ができないので、一つずつ覚えております。

毎日、朝礼から始まって、掃除、トレーニング、モデル、そして片付けという毎日を過ごしています。モデルさんはたくさん来るようになりました。お客さんもまだまだですが、たまに来るようになりました。今回はミツイさんの支援を受けてウィッグでカットレッスンをしました。

絆サロンメンバー エレナ ナニン レイナ ティナ



身体の弱い手術が必要な子たちの支援

これは富田江里子さんがクリニックで診ている身体の弱い子たちの支援です。水頭症メイタン君は亡くなってしまいましたが、心臓病のダニエラ、ブーヨ、パブパブ、腸の病気のユウアン、足が不自由なエージェイ、そして事故して体の麻痺があるミデルと会いました。この子たちはウッディからの支援で手術したり、治療をしている子たちです。

今回はぼくたちのいるところに来てもらい、みなさんと触れ合いました。ぼくたちが大勢で行くと、周りの人たちがお金を置いていったと思い、家族がいじめにあうみたいで、お家まで行けないので、みんなに会えるように来てもらうことにしました。

ミデルは40度の熱の中、私たちに会うために絵を描いたり笑顔で話したりしてくれました。床ずれのひどい病気の患部もぼくは目で見ました。ひどい状態です。15センチから20センチくらい、皮膚の中が見える状態でした。

いつ、何かあってもおかしくない状態で、ひょっとしたら来年は会えないかもしれません。

すごく複雑な心境です。なんとかならないかと。



ユウアン
(腸)

ミデル
(全身麻痺)



ダニエラ (心臓)



今度支援する
心臓に疾患のある子

マクマック



パブパブ (心臓)



エージェイ
(足の変形)

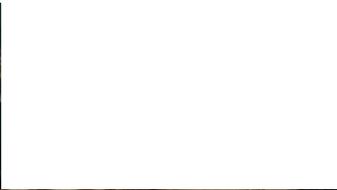
ブーヨ (心臓)
今回は会えなかった



学校や村でのボランティアカットとコミュニケーション

学校では、今回授業をさせていただきました。1.2年生は福笑い、3.4年生は折り紙とフルーツバスケット、5.6年生はアレンジヘアの作り方をしました。収集のつかないくらいの盛り上がりでした。もう、何度か行っているのですが、厳しい学校ですが、校長先生からは絶大な信頼を受けております。その後、全校生徒をカットやアレンジをしてきました。

次の日はアエタと普通のフィリピン人が混じっている村へ行き、メイクレッスンとボランティアカットをしました。メイクレッスンでは少しのメイク道具を支給しきれいになってもらうことで、物乞いなどをなくすことが目的です。メイクをしてマニキュアをするようになると物乞いという選択肢が少なくなっていくそうです。美の力はすごいとおもいました。この村では終わりがなくらい人が集まってきました。



今回感じたこと

ずいぶんと積み重ねてきたことを実感できたということです。知ってる人も増えました。毎回手紙を書いてくれる女の子もいます。

ブーヨ、ユウアンはぼくに会うと膝の上に乗ってくれます。ダニエラも年頃になってきましたが、僕たちに彼女なりに感謝してくれていると感じ、今回もわざわざ会いに来てくれました。

貧しい国の悲しい現状を夢を持って明るくさせることがこのボランティアではないだろうか？また、そのことによって、私たちも学ばさせていただいているとおもっております。

ウッディの一員であるからこそ、体験できる、学べる場だと思っております、とても、感謝しております。

みなさんの支援も富田さん夫妻、絆サロンスタッフ、ずいぶん喜んでおられます。

本当にこのような機会をいただいております、ありがとうございます。

また、いろいろな支援をしていただいております、皆様には感謝しております。

今回決まったこと

- ・年2回のフィリピンボランティアを年3回にする。その際の団長はタイガー（上田さん）にお願いする。
- ・また、出会った心臓の疾患のある子を支援する。（マクマック君）
- ・次回は4月に予定